

ボランティアのための後方支援施設

とうわボランティアの家

岩手県沿岸部から約100キロの花巻市東和町にある宗門関係の「とうわボランティアの家」は、沿岸部に通る一般の人も多く、ボランティア活動の底上げを担う施設としても、期待の声は大きい。施設内で作業する人なうボランティアの活動。同施設では宗派から委託されたスタッフとボランティアのたどともに、活動に従事した人が休息を取るボランティアの後方支援施設としても利用されている。

宿泊や調理設備などを備えた施設は県内に少なく、地域や行政のボランティアセンターや民間支援団体から紹介

(32、北海道深川市・一乗寺門徒)。「とうわボランティアの家」で活動する殿平真さん(一乗寺衆徒)に誘われ、被災地でのボランティア活動に昨年12月から参加する。

去作業に参加したが、何日も続けるのは大変だった。でも、ボランティアから戻り、『とうわ』での心地よさがまた力になったと思

う。今回は長期滞在し、事務の手伝いなど施設に残って全

てをさせていた。え、家を失った人も少な

いなど施設に残って全

をさせたい。え、家を失った人も少な

いなど施設に残って全



小野寺真人さん

2月中旬から約2週間滞在した京都の大学院生・小野寺真人さん

内の掃除、日用品や非常食の買い出しなどを行い、利用者をサポートしている。

ここでは流入物撤去